

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月10日

上場会社名 Chatwork株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4448 URL https://go.chatwork.com/ja/  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員CEO (氏名) 山本 正喜  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO (氏名) 井上 直樹 (TEL) 050(1791)0683  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)  
 (百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,924	36.0	△134	—	△428	—	△431	—	△422	—
2022年12月期第2四半期	2,150	—	△127	—	△247	—	△248	—	△229	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 △432百万円(—%) 2022年12月期第2四半期 △248百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△10.56	—
2022年12月期第2四半期	△5.79	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。  
 2. EBITDA=営業損益 + 減価償却費及び無形固定資産償却費 + 株式報酬費用

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	5,886	2,558	43.0
2022年12月期	5,400	2,869	52.4

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 2,530百万円 2022年12月期 2,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,646 ~6,744	44.6 ~46.8	0 ~77	—	△606 ~△528	—	△612 ~△535	—	△575 ~△498	—	△14.37 ~△12.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	40,192,318株	2022年12月期	39,941,702株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	11,157株	2022年12月期	2,223株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	40,011,267株	2022年12月期2Q	39,537,258株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは「働くをもっと楽しく、創造的に」というミッションのもと、人生の大半を過ごすことになる「働く」という時間において、ただ生活の糧を得るためだけではなく、1人でも多くの方がより楽しく、自由な創造性を存分に発揮できる社会を実現することを目指し、仕事の効率化や創造的な働き方を実現するサービスの開発・提供に取り組んでおります。

このようなミッションのもと、現在の主力サービスであるビジネスチャットツール「Chatwork」は国内中小企業を中心とした顧客企業の労働生産性の向上や働き方の多様性を提供しており、国内利用者数N01（注1）のサービスとなります。中長期のビジョンとしてこのビジネスチャットの中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していく事でさらなる中小企業のDX化に貢献してまいります。

当第2四半期連結累計期間においては、「Chatwork」の普及とビジネスチャットのプラットフォームを活かした周辺サービスの拡大に投資をおこなってまいりました。また、2023年2月に連結子会社化した株式会社ミナジンのPMIが順調に進捗しており、人事労務領域へのサービス拡張が進んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,924,535千円（前年同四半期比36.0%増）、EBITDA（注2）134,521千円の損失（前年同四半期は127,745千円の損失）、営業損失428,552千円（前年同四半期は247,922千円の営業損失）、経常損失431,093千円（前年同四半期は248,036千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は422,366千円（前年同四半期は229,057千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

## (Chatworkセグメント)

Chatworkセグメントは、引き続き主力サービスである「Chatwork」の利点を訴求し、新たな機能追加と顧客の開拓に努めました。以上の結果、売上高は2,810,859千円（前年同四半期比39.2%増）、セグメント損失は463,319千円（前年同四半期は290,803千円のセグメント損失）となりました。

なお、当セグメントが当社の主力事業であり、本社機能も含めて各間接費の全てが当セグメントの維持・拡大のために費やされていることから、間接費の全額を当セグメントにおける費用として計上しております。

## Chatworkアカウント事業のARR（注3）、課金ID数、ARPU推移

	2020年12月期 第4四半期	2021年12月期 第4四半期	2022年12月期 第4四半期	2022年12月期 第2四半期	2023年12月期 第2四半期
ARR（百万円）	2,279	3,447	4,425	3,728	4,726
課金ID数（万）	45.7	54.7	66.8	59.1	72.0
ARPU（円）	409.9	529.4	547.4	516.2	548.3

## (セキュリティセグメント)

セキュリティセグメントについては、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。その結果、売上高は113,676千円（前年同四半期比13.0%減）、セグメント利益は34,766千円（前年同四半期比18.9%減）となりました。

なお、当セグメントのセグメント利益については、前述のとおり間接費を全てChatworkセグメントにて計上していることから、当セグメントの売上高より当セグメントに要した広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費等の直接経費のみを控除した金額を計上しております。

- (注) 1. Nielsen NetView 及びNielsen Mobile NetView Customized Report 2022年5月度調べ月次利用者（MAU:Monthly Active User）調査。調査対象はChatwork、Microsoft Teams、Slack、LINE WORKS、Skypeを含む47サービスをChatwork株式会社にて選定  
2. EBITDA=営業損益+減価償却費及び無形固定資産償却費+株式報酬費用  
3. Annual Recurring Revenueの略。毎年継続して発生する収益 MRR（Monthly Recurring Revenue、毎月繰り返す）

得ることのできる売り上げ)の12倍

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて485,659千円増加し、5,886,046千円となりました。これは主にのれんが1,048,612千円増加、ソフトウェアが440,304千円増加、現金及び預金が1,253,578千円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて796,619千円増加し、3,327,074千円となりました。これは主に、長期借入金が491,946千円増加、契約負債が124,794千円増加、1年内返済予定の長期借入金が112,826千円増加したことによるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて310,960千円減少し、2,558,971千円となりました。これは主に、資本金が60,688千円増加、資本剰余金が60,688千円増加、利益剰余金が422,366千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は43.0%(前連結会計年度末は52.4%)となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて1,253,578千円減少し、1,596,745千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは254,395千円の支出となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失431,093千円の計上、前払費用が146,921千円増加、減価償却費を186,282千円計上したことによるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,234,336千円の支出となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出580,349千円、長期預金の預入による支出350,000千円、無形固定資産の取得による支出231,924千円によるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、235,133千円の収入となりました。これは主に、長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出102,260千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想におきまして、前連結会計年度に続きChatworkセグメントの売上高成長率を最重要の経営目標とすることが企業価値向上にとって最優先であると考えております。この考え方にに基づき、全体売上高は前連結会計年度比35%以上、Chatworkセグメントで前連結年度比40%以上の成長を目標としつつ、ビジネスチャット市場の拡大におけるシェア獲得を最重要と考え投資をおこなってまいりました。

2023年12月期第2四半期累計期間においては、Chatwork課金IDの伸長、株式会社ミナジンの連結子会社化などにより順調に成長を続けております。第3四半期以降は価格改定によるARPUの上昇、子会社含む周辺サービスの売上拡大などにより、当期の全体売上高は前連結会計年度比44.6～46.8%、Chatworkセグメント売上高は同47.8～50.1%と期初の目標を上回る見通しでございます。

レンジにつきましては価格改定による課金ID数の変動、周辺サービスの売上の変動を想定しております。業績見通しの詳細は下記の通りでございます。

(単位:百万円)

	2022年12月期 実績	2023年12月期 予想	前年同期比
売上高	4,593	6,646 ～ 6,744	+44.6% ～ +46.8%
Chatworkセグメント	4,368	6,460 ～ 6,558	+47.8% ～ +50.1%
売上総利益	3,187	4,186 ～ 4,291	+31.3% ～ +34.6%
売上総利益率	69.3%	62.9% ～ 63.6%	△6.4pt ～ △5.7pt
EBITDA	△468	0 ～ 77	-
営業利益	△719	△606 ～ △528	-
経常利益	△724	△612 ～ △535	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△687	△575 ～ △498	-

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,850,323	1,596,745
売掛金	307,867	356,393
前払費用	690,402	875,502
その他	71,376	39,839
貸倒引当金	△72	△260
流動資産合計	3,919,898	2,868,220
固定資産		
有形固定資産	29,652	12,570
無形固定資産		
ソフトウェア	248,580	688,884
のれん	285,326	1,333,938
その他	626,677	252,955
無形固定資産合計	1,160,584	2,275,778
投資その他の資産	290,251	729,477
固定資産合計	1,480,488	3,017,826
資産合計	5,400,387	5,886,046
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	327,445	341,026
未払費用	137,443	120,129
未払法人税等	32,160	25,953
契約負債	995,838	1,120,632
賞与引当金	21,600	22,835
短期借入金	—	2,800
1年内返済予定の長期借入金	102,000	214,826
その他	115,712	118,477
流動負債合計	1,732,200	1,966,681
固定負債		
長期借入金	763,500	1,255,446
繰延税金負債	34,754	32,710
退職給付に係る負債	—	2,237
その他	—	70,000
固定負債合計	798,254	1,360,393
負債合計	2,530,455	3,327,074
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,622,024	2,682,712
資本剰余金	2,607,884	2,668,572
利益剰余金	△2,398,796	△2,821,162
自己株式	△88	△88
株主資本合計	2,831,023	2,530,033
非支配株主持分	38,908	28,937
純資産合計	2,869,931	2,558,971
負債純資産合計	5,400,387	5,886,046

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	2,150,486	2,924,535
売上原価	607,019	1,089,715
売上総利益	1,543,467	1,834,819
販売費及び一般管理費	1,791,389	2,263,372
営業損失(△)	△247,922	△428,552
営業外収益		
受取利息	9	85
為替差益	11,883	1,014
助成金収入	—	2,497
ポイント収入額	—	3,330
雑収入	738	241
その他	—	18
営業外収益合計	12,631	7,186
営業外費用		
支払利息	3,120	7,970
株式交付費	9,555	506
その他	69	1,251
営業外費用合計	12,745	9,727
経常損失(△)	△248,036	△431,093
特別利益		
固定資産売却益	461	—
特別利益合計	461	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△247,574	△431,093
法人税、住民税及び事業税	3,051	3,287
法人税等調整額	△2,044	△2,044
法人税等合計	1,007	1,243
四半期純損失(△)	△248,581	△432,336
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,523	△9,970
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△229,057	△422,366

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△248,581	△432,336
その他の包括利益		
四半期包括利益	△248,581	△432,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△229,057	△422,366
非支配株主に係る四半期包括利益	△19,523	△9,970

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△247,574	△431,093
減価償却費	69,093	186,282
のれん償却額	16,783	63,105
株式報酬費用	25,531	46,764
株式交付費	9,555	506
受取利息及び受取配当金	△9	△103
助成金収入	—	△2,497
支払利息	3,120	7,970
コミットメントフィー	—	371
為替差損益(△は益)	△209	△19
固定資産売却損益(△は益)	△461	—
売上債権の増減額(△は増加)	13,165	5,043
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	188
前払費用の増減額(△は増加)	171,276	△146,921
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,600	△6,139
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	196
未払金の増減額(△は減少)	△153,843	△26,012
未払費用の増減額(△は減少)	△16,551	△22,099
未払法人税等の増減額(△は減少)	1,907	△3,413
契約負債の増減額(△は減少)	122,938	88,317
その他	5,838	△3,000
小計	42,159	△242,552
利息及び配当金の受取額	9	103
助成金の受取額	—	2,497
利息の支払額	△3,120	△7,990
コミットメントフィーの支払額	—	△371
法人税等の支払額	△4,066	△6,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,981	△254,395
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,420	△393
有形固定資産の売却による収入	551	—
無形固定資産の取得による支出	△205,530	△231,924
投資有価証券の取得による支出	△29,880	△29,987
資産除去債務の履行による支出	△18,181	—
差入保証金の差入による支出	—	△12,162
敷金及び保証金の回収による収入	280	480
貸付けによる支出	—	△30,000
長期預金の預入による支出	—	△350,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△580,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262,182	△1,234,336

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	—
短期借入金の返済による支出	△200,000	△1,500
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△59,500	△102,260
株式の発行による収入	21,700	39,400
新株発行による支出	△9,555	△506
財務活動によるキャッシュ・フロー	252,644	235,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	209	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25,652	△1,253,578
現金及び現金同等物の期首残高	3,200,053	2,850,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,225,706	1,596,745

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatwork セグメント	セキュリティ セグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	78,481	130,681	209,162	209,162
一定の期間にわたり移転される財	1,941,323	—	1,941,323	1,941,323
顧客との契約から生じる収益	2,019,804	130,681	2,150,486	2,150,486
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,019,804	130,681	2,150,486	2,150,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,019,804	130,681	2,150,486	2,150,486
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△290,803	42,881	△247,922	△247,922

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 当社における主力事業はChatworkセグメントであり、本社機能も含めて間接費の全てがChatworkセグメントの維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatworkセグメントにて計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatwork セグメント	セキュリティ セグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	109,133	113,676	222,809	222,809
一定の期間にわたり移転される財	2,701,726	—	2,701,726	2,701,726
顧客との契約から生じる収益	2,810,859	113,676	2,924,535	2,924,535
その他の収益				
外部顧客への売上高	2,810,859	113,676	2,924,535	2,924,535
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,810,859	113,676	2,924,535	2,924,535
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△463,319	34,766	△428,552	△428,552

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 当社における主力事業はChatworkセグメントであり、本社機能も含めて間接費の全てがChatworkセグメントの維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatworkセグメントにて計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。